

「ねえ、知ってる？ 2年後の中津川市のこと」



▶ じっくり学習できる場所のこと。

自分のパソコンを持ちこんで、朝から夕方までじっくり学習ができる。一休みしたい時は1階のカフェでお茶も飲めるし、お弁当も食べられるの。アイデアが出ない時は、風とおしの良いテラスでリフレッシュ。

3階の学習室でじっくり研究するのもいいし、1階のフリースペースで友達と一緒にわいわい雑談しながら宿題をするのも楽しいよね。

わからないことは、豊富な資料で即解決！司書さんにも相談してみようかな…

▶ わいわいがやがや遊べる場所のこと。

「図書館は静かなところ」というイメージがあって、やんちゃな子ども達を連れて行きづらかったけど、ここは「静かな場所」と「にぎやかな場所」がしっかり分かれているから、安心して連れて行ける。

1階の子ども図書館では、いつも色々なイベントをやっているから、週末にはテーマパーク代わりに、家族みんなまでかけるの。

おじいちゃんは新聞コーナーに、私は展示コーナーの企画展に。その間、旦那は子ども達の世話係！



▶ 「わたし」を表現できる場所のこと。

誰にだって「好きなこと」「得意なこと」がある。みんなの頭の中に眠っている「すごい」を集めたら、図書館が一つ建っちゃうかも！？

あなたが「当たり前だ」と思っていることが、誰かの「ほしい」情報になる。ここではみんなの頭の中をクリエイティブに表現できる。

中山道を臨む大きなガラス窓越しに、何を発信しようか？ 歌舞伎でもいいし、お菓子づくりでもいい。もちろんインターネットで世界中へ発信することも可能だ。



あんなことも、こんなこともできる。

中津川市の
図書館は、

「創造情報館」へ！

そうぞう

じょうほうかん

なぜ、
図書館をつくるの?

▶ 「図書館」から「創造情報館」へ

中津川市立図書館は、新しく「**創造情報館**」として生まれ変わります。「**創造情報館**」は、「**知識と情報の拠点**」となる社会教育の施設です。情報化時代と言われる今日、身の回りには様々な種類の情報があふれかえっています。「**創造情報館**」は、みなさんが膨大な情報の中から欲しい情報へ簡単にたどり着くためのお手伝いをします。「情報の使い方を学ぶための学校」であるとも言えるでしょう。日常のちょっとした疑問や問題を解決するためにも情報は必要不可欠です。「子育ては?」「生きがいづくりは?」みなさんの人生を豊かにする秘訣も「**創造情報館**」で見つけることができます。

▶ にぎわう図書館でまちが元気になる

たくさんの情報を扱う「**創造情報館**」には、たくさんの人が集まります。読書をしに来た人、インターネットを使いたい人、おしゃべりをしに来た人、ちょっと立ち寄った人……。まちの中心にあって様々な人がわいわいがやがや集まってくる、他にはないちょっと変わった図書館が、**中津川市の新しいシンボル**です。

「**創造情報館**」でいろいろな情報や人と交流をすることで、みなさんの頭の中から新しいアイデアが生まれ、その新しい情報を世界中に発信していける。蓄積された情報が、未来の「誰か」のためになる。「**創造情報館**」は将来にわたって成長し続ける図書館です。

お金は?
病院は大丈夫なの?

▶ 「返す以上に借りない」の約束

「借金を返す以上に借りない」「国、県の補助金を獲得して事業を行う」などの約束事を守って、各事業を進めることで、中津川市は合併後6年間で**193億円の借金を減らしました**。この借金を減らして財政を健全にする、将来を見通した財政計画の中に、既に「**創造情報館**」の建設事業は組み込まれています。そのため、建設によって財政が悪くなることはありません。

中津川市は全体的なバランスを見つつ、医療、子育て支援、福祉、産業、教育、交通、住宅、環境などの事業を、みなさんの要望に沿って進めています。

▶ 医療も教育も豊かな人生に必要な不可欠

病院という「医療施設」も、図書館という「教育施設」も、人が豊かに生きるためには欠かせない施設です。二つを比較して、どちらか一方を選ばなければいけないなんて、とってもおかしな話。中津川市は、健全な財政を維持しながら、**医療にも教育にも力を入れていきます**。

今年度でいえば、医師看護師確保に約1億6千万円、子どもの医療費無料化に3億円、ヒブワクチン等ワクチン接種等に約1億3千万円、市内13ヶ所の在宅介護支援センターに約4千9百万円、養護老人ホーム清和寮改修事業に1千万円など、医療、介護、子育て支援に多くの費用を充てています。



未来の中津川市を担う「人づくり」の拠点を 「創造情報館」は目指します!